

家畜衛生だより



置賜家畜保健衛生所
置賜家畜衛生指導協会
〒999-2232 南陽市三間通 444
0238-43-3217
0238-43-5249

R7-3 令和7年4月発行

アカバネ病はワクチンで予防しましょう

アカバネ病は平成22年～23年に山形県内でも多発し、流死産、子牛の奇形、難産等が多数確認されました。

アカバネ病

○アカバネウイルスを運ぶヌカカに吸血されることにより感染。

○症状・母牛：奇形子牛出産時に難産を起こす危険性あり。

- ・胎子：母牛が妊娠中に感染すると、流死産（10月頃発生）や異常産（1～4月頃発生；関節湾曲、水頭症等、盲目）を起こす。

- ・子牛、育成：生後感染すると、起立不能、運動失調等の神経症状起こす。

○予防法 **ワクチン接種…ヌカカが活動する前（4～6月）**

※置賜家畜衛生指導協会で行っています（1頭1,938円）。



神経症状による起立不能



両前肢の関節拘縮

ワクチンを接種して大切な牛を守りましょう

～お問い合わせは、置賜家畜保健衛生所または置賜家畜衛生指導協会まで～